

第127回
日本眼科学会総会
ランチョンセミナー20
(LS-20)

日時 2023年4月7日(金)
12:45~13:45

※LIVE配信はありません。

会場 第10会場
ガラス棟4F G409
(東京国際フォーラム)
〒100-0005
東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

オンデマンド
配信期間

4月27日(木)正午~5月26日(金)正午

白内障、緑内障、白内障、緑内障治療の
アプローチからみる

座長



中京眼科 視覚研究所 所長
市川 一夫 先生

眼科診療は機器の進化や治療薬の開発、手術手技の向上などにより飛躍的な進歩を遂げており、治療の幅はかなり広がりました。他方、患者が求める満足度はそれぞれであり、個々の症例に適した治療戦略を考える必要があります。

白内障手術は患者側からは安全で術後視機能も良好な手術とされています。しかし、本手術が年間約150万件も実施されることを考えると、患者の数だけ術後視機能の要望があると考えられ、術者はそれらを考慮し手術することが必要となります。一方、緑内障手術においては、様々なデバイスの登場に加え新たな術式も増え選択肢が広がってきました。また、術後の良好な眼圧コントロールを如何に長く保つか、患者に合った点眼薬の選択も術前・術後共に重要です。

本セミナーではそれぞれの分野でご活躍されている飯田先生、廣岡先生に手術戦略についてご講演いただきます。本日の学びが明日からの診療の一助となれば幸いです。

講演
1

患者満足度向上を目指した
白内障手術戦略
~トーリックIOLを含めて~



北里大学医学部 眼科学 准教授
飯田 嘉彦 先生

講演
2

患者満足度向上を目指した
緑内障手術戦略
~ROCK阻害薬を含めて~



広島大学病院 眼科 診療教授
廣岡 一行 先生

※ランチョンセミナーでは当日の朝に整理券が発行されます。 ※開催形式などの最新情報につきましては、学会ホームページをご参照ください。